

東六甲の十字路、山口町船坂

—有馬温泉への旅と物流—

湯山（有馬温泉）の出入り口にあたるのが名の由来という私たちの「山口町」。古くから有馬の湯と大阪、丹波、播磨をつなぐ街道の要所となっており、特に船坂（清水谷）を多くの人々が通っていました。

日本最古の名湯へ往来したのは「日本書紀」に行幸が記録される古代の舒明天皇、孝徳天皇、有馬の発展に大きく寄与した名僧行基や仁西、小野小町、和泉式部、前田利家、伊能忠敬、グレースケリー、吉川英治など著名人が訪れています。特に秀吉は大きな事案が片付いた後には、何度も訪れ、北政所、千利休や多くの武将と共に茶会などを催しています。



秀吉とねねの像（有馬温泉）

講師 田辺 真人（たなべ まこと） 園田学園女子大学名誉教授

日時 平成29年12月17日（日） 14時～15時30分（開場13時40分）

会場 山口公民館 第2・3集会室（山口センター4階）

定員 100名（先着順） **入場無料**

主催 山口地域コミュニティ



【講師プロフィール】

田辺 真人（たなべ まこと）

神戸市出身、関西学院大学卒。

1986年から1991年にかけてニュージーランド教育省・国立マッセイ大学に勤務。地域史研究に対し、兵庫県文化賞・神戸市文化賞・宝塚市市民文化賞・ロードニー賞、教育功労に対し文部科学大臣表彰・兵庫県教育功労者表彰などを受ける。その間、宝塚市教育委員長やニュージーランド学会副会長などを歴任。

NHK テレビ「新兵庫史を歩く」、ラジオ関西（毎週日曜日）「田辺真人のまっこと！ラジオ」などに出演中。